

公益財団法人しまね国際センター 令和5年度事業報告

○公益目的事業Ⅰ

(多文化共生の地域づくり・国際交流・協力に関する事業)

1. 交流・場づくり事業 <関係づくり>

外国人住民と日本人住民との交流の場づくりや、外国青年等の受入れ・交流を通し、お互いの文化や生活習慣等を知り、多文化共生への関心を広げ、相互理解を深めた。

(1) 外国人住民と日本人住民との交流事業

外国人住民と日本人住民の交流や情報交換のできる場を提供した。

ア SIC多文化ひろば【拡充】

(ア) 親子のひろば

①世界の絵本でおはなし会 (英語&タガログ語&ベトナム語)

日時 2023年6月24日(土) 14:00-15:30 (※2回実施)

場所 浜田市立中央図書館(浜田市)

参加者 18人

内容 英語・タガログ語・ベトナム語・日本語での絵本の読み聞かせ、ミニ文化紹介クイズ等

②世界の絵本でおはなし会 (英語&タガログ語&ポルトガル語)

日時 2023年9月10日(日) 14:30-15:45 (※2回実施)

場所 出雲市立ひかわ図書館(出雲市)

参加者 34人

内容 英語・タガログ語・ポルトガル語・日本語での絵本の読み聞かせ、ミニ文化紹介クイズ等

③多文化ひろば 親子であそぼう!

日時 2024年3月24日(日) 10:30-12:30

場所 いわみーる(浜田市)

参加者 34人

内容 英語・ロシア語での絵本の読み聞かせ、イースターエッグ作り、外国の遊びや民族楽器体験、日本の昔遊び体験等

(イ) 言葉のひろば「多言語に触れよう・多文化に出会おう」

日 時 ①2024年2月17日（土）14:00-16:00

②2024年2月18日（日）14:00-16:00

開催地 ①松江市国際交流会館（松江市）、②いわみーる（浜田市）

参加者 ①69人、②39人

内 容 外国人住民によるパフォーマンス、クイズ、ブース展示、
スタンプラリー

(ウ) 体験のひろば「みんな大好き！世界のフライドポテト作り体験」

時 期 ①2023年10月8日（日）10:00-12:00

②2023年10月22日（日）10:00-12:00

開催地 ①浜田市総合福祉センター（浜田市）

②しまね国際センター（松江市）

参加者 ①26人、②19人

内 容 キャッサバ（出雲産）・じゃがいも・長芋を材料にした
フライドポテトの調理、各種調味料による試食、参加者
同士の交流

イ 外国人住民向け多文化共生イベント（県受託事業）

実施を希望する市町村がなかったという県のとりまとめ結果を受けて、
事業を実施しなかった。

(2) 青年交流事業

ア 北東アジア交流の翼 in しまね（県受託事業）

県内在住の北東アジア地域等の青年と島根青年との交流プログラムを実施
することにより、ネットワークづくりと人材育成を行った。

(ア) 事前研修（全3回）

日 時 ①2023年7月8日（土）13:30-16:30

②2023年8月1日（火）18:30-19:30

③2023年8月23日（水）18:30-20:30

場所等 しまね国際センター（オンライン併用）

参加者 島根青年7人

内 容 ①自己紹介、事業説明、役割分担、プログラム内容検討

②各プログラム内容検討

③各プログラム内容検討

(イ) 交流プログラム（全3回）

日 時 ①2023年9月2日（土）13:30-16:30

②2023年9月23日（土）10:00-16:30

③2023年10月21日（土）10:00-17:00

- 場 所 ①松江市市民活動センター（松江市）
②松江市街及び松江テルサ（松江市）
③宍道ふるさと森林公園（松江市）
- 参加者 27人
（中国 6、ベトナム 3、アメリカ 2、ブラジル 2、韓国 1、
インド 1、マレーシア 1、ミャンマー1、ベナン 1、デン
マーク 1、ポーランド 1、日本 7）
- 内 容 ①開会、自己紹介、交流活動
②着物体験、まちあるき、写真コンテスト
③交流活動、講義、自然体験活動

(ウ) 事後研修（全 3 回）

- 日 時 ①2023 年 11 月 9 日（木）19:00-20:00
②2023 年 11 月 15 日（水）13:30-14:00
③2023 年 11 月 15 日（水）19:00-20:00
- 場所等 ①③オンライン、②島根県立大学浜田キャンパス
- 参加者 島根青年 7 人
- 内 容 プログラムに参加しての感想、振り返り、まとめ
将来への抱負ほか

(エ) 合同報告会

- 日 時 2023 年 12 月 2 日（土）14:00-16:00
- 場 所 松江テルサ（松江市）
- 内 容 活動報告

(3) プログラムコーディネーター事業（県受託事業）

一般財団法人自治体国際化協会が実施する外国青年招致事業（JETプログラム）により、県・市町村が招致する外国青年について、受入や配置に係るコーディネーター、県内での研修プログラムの企画・運営、カウンセリングを行った。県（文化国際課内配置）国際交流員については、業務の調整も行った。さらに、県の情報を海外へ発信するための情報誌を作成した。（年2回、Web掲載）

また、内閣府の青年国際交流事業、独立行政法人国際協力機構、民間団体等の国際交流や国際協力に関して連携・調整・支援等を行った。JICA日系研修員（長期研修）1名を受け入れた。

2. 担い手育成事業 <担い手育成>

外国人住民を取り巻く課題や社会的なニーズに対応するために、主体性を発揮して支援活動を行おうとする地域住民に対して基礎的・専門的な研修等を行い、担い手を育成した。

(1) 担い手育成事業

ア 日本語パートナー（県受託事業）

SICにほんごコースで活動するボランティアの養成を行った。

(ア) 日本語パートナー入門講座（全4回）

- 日 時 ①2023年5月27日（土）13:30-16:30
②2023年6月3日（土）13:30-16:30
③2023年6月3日（土）～10日（土）
オンデマンド動画視聴
④2023年6月10日（土）13:30-16:30

- 場所等 ①大田市民センター
②④おおだふれあい会館（大田市）
③オンライン

参加者 24人

内 容 講義「島根県で暮らす外国人のこと」
ワークショップ

「国際理解・異文化間コミュニケーション」

実習

「やさしい日本語」「オリジナル教材を使った教え方」

- 講 師 ①平田 節子（島根県外国人地域サポーター）
①橋本 優香（広島市日本語教育コーディネーター）
②③佐藤 智照（島根大学外国語教育センター）
③岩田 和美（しまね国際センター）
④芝 由紀子（（一社）ダイバーシティうんなんtoiro
島根県外国人地域サポーター）

(イ) スキルアップセミナー

- 日 時 ①オンデマンド動画視聴
2023年12月2日（土）～14日（木）
②クラス指導体験会
出雲会場：2023年12月17日（土）14:00-16:00
松江会場：2023年12月23日（土）10:00-12:00

- 場所等 ①オンライン
②出雲会場：さんぴーの出雲（出雲市）
松江会場：しまね国際センター（松江市）

参加者 ①19人、②出雲会場：4人、松江会場：3人

- 内 容 ①「SICにほんごコース《職場でにほんご》について」
「島根県の外国人住民の日本語能力と日本語学習」
「クラス形式の日本語学習の進め方(インプット編)」
「クラス形式の日本語学習の進め方(アウトプット編)」
「仕事に関する日本語」
②「にほんごコース《職場でにほんご》について」
「県オリジナル教材『いっしょににほんごしまねけん』
の特徴と内容」
「クラスで教える際のポイントと指導体験」

(ウ) 日本語パートナーズオンライン対応講座

日 時 2023年7月1日(土) 10:00-11:30

方 法 オンライン

参加者 7人

内 容 オンライン形式の「となりでにほんご」活動説明、
受講者同士での活動体験

講 師 岩田 和美(しまね国際センター)

イ 子どもサポーター(CLAIR助成事業)

最近ニーズが増大、多様化しつつある外国にルーツをもつ子どもに対する日本語学習支援を推進するため、支援者不足が懸念される地域で養成講座を行った。

(ア) 外国にルーツをもつ子どもの学習支援ボランティア養成講座

日 時 ①2023年8月5日(土) 9:30-12:30

②2023年8月19日(土) 13:30-16:00

③2023年9月9日(土) 13:30-16:00

④2023年9月10日(日) 9:30-12:00

場所等 ①いわみーる(浜田市)、出雲市民会館(出雲市)

②オンライン、③いわみーる(浜田市)、

④出雲市民会館(出雲市)

対象者 外国にルーツをもつ子どもの学習支援に関心のある方等

参加者 30人

内 容 ①国際理解ワークショップ

外国にルーツをもつ人の話をきいてみよう!

島根県の外国にルーツをもつ子どもたちの状況

出雲市の外国にルーツをもつ子どもたちの状況

島根県の外国人住民の状況

②外国にルーツをもつ子どもの状況と日本語指導の
基礎知識

③④地域で実践! 支援の現状と支援の方法

- 講 師 ①新川 美佐絵 (JICA中国)
 舛本 才智 (JICA島根県デスク)
 姚 藝 (多文化ユースプロジェクト)
 星玖 藤原 愛紗 (多文化ユースプロジェクト)
 井出 リエ (元JICA日系サポーター研修員)
 大谷 淳司 (島根県教育庁教育指導課)
 松本 康佑 (出雲市教育委員会学校教育課)
 ②③④高橋 清樹
 (認定NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ)

(イ) ボランティアに役立つ傾聴講座 (①東部会場、②西部会場)

- 日 時 ①2023年11月18日(土) 14:00-16:00
 ②2023年12月9日(土) 13:30-15:30
 場 所 ①出雲市民会館(出雲市)、②いわみーる(浜田市)
 対象者 外国にルーツをもつ子どもの学習支援に関心のある方等
 参加者 43人
 内 容 子どもの話に耳を傾ける「傾聴」とは
 講 師 大西 俊江(山陰心理研究所)

ウ コミュニティ通訳ボランティア

コロナ禍によりコミュニティ通訳ボランティアの派遣件数が減少している中、活動機会が少なくなっている登録者のスキルアップ及びコロナ後を見据えた新規ボランティア養成を主な目的として、コミュニティ通訳ボランティア養成講座を実施した。

(ア) 養成講座(全2回)

- 日 時 ①2024年3月2日(土) 9:30-16:00
 ②2024年3月9日(土) 9:30-16:30
 方 法 オンライン
 対象者 コミュニティ通訳ボランティア、活動に関心のある方
 参加者 ①26人、②22人
 内 容 ①講義：社会の中で通訳が果たす役割、通訳倫理(前編)
 通訳技術(前編)
 演習：言語別ロールプレイ
 (人間ドッグ、喘息発作、手足口病など)
 ②講義：通訳倫理(後編)、通訳技術(後編)、
 通訳準備、コミュニティ通訳制度
 演習：言語別ロールプレイ(狭心症、妊婦健診など)
 講 師 講義：森田 直美((一社)全国医療通訳者協会(NAMI))
 演習：森田 直美(NAMI)・鈴木 万里子(NAMI)・佐藤
 ペティ(NAMI)・岩本 弥生(NAMI)
 ビアンカ・チャン(島根県文化国際課)
 フェリペ・ナシメント(島根県文化国際課)

チアゴ・カナグシク（出雲市文化国際室）
八嶋 アーリーン（しまね国際センター）
李 海冰（しまね国際センター）

(イ) 勉強会

2023年11月～12月に開催された「ボランティアに役立つ傾聴講座」
（詳細6頁）をコミュニティ通訳ボランティアのための勉強会として
案内し、計5人の参加があった。

エ 災害時外国人サポーター（県受託事業）

外国人住民の災害に対する意識の向上と、災害時に外国人住民をサポート
するボランティアの確保・増員を図るため、自治体と連携しながら開催した。

(ア) 災害時外国人サポーター養成研修

東部会場

日 時 2024年1月28日（日）9:30-13:00

場 所 安来市役所（安来市）

参加者 19人

内 容 講義・演習

「災害時に外国人が直面する課題、災害時に求められる
支援」、情報翻訳訓練、避難所巡回訓練、
外国人住民との交流活動

講 師 目次敦美（多文化共生マネージャー）

主 催 島根県、しまね国際センター、安来市

西部会場

日 時 2023年7月30日（日）9:30-12:30

場 所 益田市人権センター（益田市）

参加者 18人

内 容 講義・演習

「災害時に外国人が直面する課題、災害時に求められ
る支援」、情報翻訳訓練、避難所巡回訓練、
外国人住民との交流活動

講 師 目次敦美（多文化共生マネージャー）

主 催 島根県、しまね国際センター、益田市、
益田日本語ボランティアグループともがき

【参考】

登録ボランティア

- ・日本語パートナー（SICにほんごコース） 171人
- ・子どもサポーター 133人
- ・コミュニティ通訳ボランティア 58人
- ・災害時外国人サポーター 86人

計 448人

（2023年3月末 合計430人）

3. 相談・支援事業 <相談・支援>

外国人住民が自立した社会生活が送れるよう多言語で各種相談に応じるとともに、外国人住民が社会参画する上での課題解決を図るため、行政・専門家・ボランティア等と連携して、様々な支援を行った。

(1) 生活情報提供・相談事業

多言語による各種の相談に対応し、必要に応じて専門機関の紹介等を行うほか、弁護士・臨床心理士による専門相談対応も行った。困難事例については、ケースワークを行い、相談から解決まで継続かつ一貫して支援した。行政窓口や各種相談窓口との連携強化も図った。また、出雲市等外国人住民が急速に増えている地域からの依頼に応じた出前相談を実施したほか、オンライン、SNSによる相談も実施した。

ア SNSによる生活情報提供（県受託事業）

ワンストップ型相談窓口寄せられる相談内容をもとに、外国人住民が必要としている情報を把握し、SNSを活用した効果的な情報発信を行った。

対応言語 やさしい日本語、英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、ベトナム語

方 法 Facebook、X（旧Twitter）

イ 相談窓口の開設（一部県受託事業）

(ア) ワンストップ型相談窓口 多言語相談Go-enしまね

対応言語 22言語（相談員と多言語コールセンターによる対応）

時 期 通年

方 法 電話（三者通話システム）、Skype、メール、SNS、来所、Zoom

相談者数 891人（東部 873人、西部 18人）（2022年度 1,520人）

相談件数 1,179件※（東部 1,169件、西部 21件）

※相談種別延べ件数（2022年度 2,308件）

相談内容 通訳・翻訳、交通・運転免許、日本語学習等

(イ) 無料法律相談

日 時 毎月第3水曜日13:30-15:20

場 所 しまね国際センター本所

相談件数 14件

相談内容 交通事故、借金、外国人同士の離婚、ハラスメント等

(ウ) 出前相談

場所及び回数 出雲市役所 2回

相談件数 2件(2022年度 3件)

相談内容 雇用、起業

(エ) 外国人住民からの相談対応にかかる関係機関情報交換会

日 時 2023年10月25日（水）14:30-16:30

場 所 島根県民会館（松江市）

内 容 県内外国人住民の状況、「多言語相談Go-enしまね」・
相談員の紹介、情報交換、意見交換
出席機関 14機関

ウ 外国人地域サポーター（県受託事業）

複雑化・深刻化する外国人相談事例に対応するため、外国人住民と行政等の橋渡し役として配置された「外国人地域サポーター」が活動を的確に行えるよう支援した。

サポーター数 16団体・個人

活動自治体 松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、
江津市、雲南市

委嘱期間 2023年4月1日～2024年3月31日

活動実績 840件（2022年度 759件）

支援内容 連絡会議の開催、関係機関との連絡調整等

(7) 連絡会議（全4回）

出席者 外国人地域サポーター、市担当課職員、県文化国際課・
雇用政策課及びしまね国際センター職員

第1回

日 時 2023年5月23日（火）10:00-12:00

場 所 島根県民会館（松江市）

内 容 自己紹介、令和5年度の取り組みについて、情報交換・
意見交換（グループ別）、意見交換（全体）

第2回（市町村・国際交流団体等連携会議 東部会場に出席）

日 時 2023年7月26日（水）13:30-15:50

場 所 島根県庁本庁舎（松江市）

内 容 県施策等の説明及び意見交換
国際交流推進施策・多文化共生推進施策、SICの事業

第3回（市町村・国際交流団体等連携会議 西部会場に出席）

日 時 2023年8月2日（水）13:30-15:50

場 所 島根県浜田合同庁舎（浜田市）

内 容 県施策等の説明及び意見交換
国際交流推進施策・多文化共生推進施策、SICの事業

第4回

日 時 2024年1月31日（水）13:50-14:50

場 所 いわみーる（浜田市）

内 容 6月～12月活動報告、県・SICからの連絡、
意見交換・情報交換（グループ別）、意見交換（全体）

(4) 研修

日 時 2024年1月31日（水）13:00-13:50

場 所 いわみーる（浜田市）※オンライン併用

内 容 「在留資格の基礎知識」

講 師 広島出入国在留管理局

内 容 ひらがな・カタカナの学習、日常生活において簡単な
コミュニケーションができるレベルの会話

b レベル別クラス

時 期 2023年5月～2024年2月

回 数 120分×20回×3クラス×2期（前期・後期）

方 法 オンライン

指導者 日本語教師

学習者 57人

①入門 20人

前期7人（日本、ブラジル、バングラデシュ）

後期13人（アメリカ、イギリス、中国、バングラデシュ、
ブラジル、ベトナム）

②初級 I 18人

前期13人（アフガニスタン、アメリカ、中国、ミャンマー、
メキシコ、フィリピン、ブラジル、ベトナム）

後期5人（バングラデシュ、ブラジル）

③初級 I 後期 19人

前期4人（中国、ブラジル）

後期15人（中国、日本、バングラデシュ、フィリピン、
ブラジル、ベトナム、ミャンマー、モンゴル）

内 容 日常生活において必要な日本語の会話

(ウ) SICにほんごコース交流会

日 時 2023年8月27日（日）10:00-12:00

方 法 オンライン

参加者 9人（学習者3人、日本語パートナー6人）

内 容 自己紹介、小グループでの日本語での交流

(エ) 日本語学習体制の整備

時 期 2023年4月～2024年3月

内 容 総合調整会議の実施、市町村ヒアリング等

イ 外国人材受入企業・団体向け（一部県受託事業）

(ア) 職場でにほんご

時 期 2023年6月～2024年3月

回 数 90分×12回

利用者 6事業所（松江市1、出雲市5）

学習者 31人（インドネシア・カンボジア・中国・ベトナム）

指導者 日本語教師・日本語パートナー

内 容 『いっしょに にほんご しまねけん』（オリジナル教材）、
『いろどり入門/A1』（国際交流基金）など

(イ) 短期集中日本語研修

a 技能実習生への日本語研修

受託はなかった。

b 外国語指導助手(ALT)への日本語研修

COVID-19拡大のためALTの入国予定が不確定だったため、開催しなかった。

ウ 日本語教室運営支援（県受託事業）

外国人住民の日本語学習の場となるだけでなく、多文化共生社会における地域の拠点となりうる日本語教室の運営活性化に向けた活動を支援した。

(ア) 日本語教室マップの作成：3,000部（6か国語併記）

言語 日本語、英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、ベトナム語

配布先 市町村住民登録窓口、出入国在留管理局等

(イ) ボランティア保険費用の補助

補助数等 4教室41人

(ウ) 教材・運営方法等についての支援

a 島根県オリジナル教材の無償提供

教材名 ①『いっしょににほんごしまねけん』

②『となりでにほんご』

(英語・中国語・ポルトガル語・ベトナム語版)

③『となりでにほんご』

(クメール語・インドネシア語・ミャンマー語・ネパール語)

提供先 ①6教室46冊、②7教室76冊、③4教室25冊

b 日本語教室向け出前講座の実施

実施数 2教室

内容 講義・演習

Can doについて

『いっしょににほんごしまねけん』について

エ やさしい日本語の普及（県受託事業）

外国人にも理解しやすい「やさしい日本語」を普及促進するための研修を実施した。

対象者 自治体職員、一般県民等

内容 講義・演習

「やさしい日本語」の概要、言い換え・書き換えの方法等

実施件数 12件（2022年度 19件）

(3) 外国ルーツの子どもの学習支援事業（CLAIR助成事業）

外国にルーツをもつ子どもが学校の授業に参加し学力の定着を図るための学習支援や高校進学のための学習支援等を実施し、外国にルーツをもつ子どもの学習機会を確保した。

ア 検討会

第1回

日時 2023年5月1日（月）14:00-16:00
場所 出雲市民会館（オンライン併用）（出雲市）
内容 事業説明、情報共有、学習支援教室開催方法、子どもサポーター研修の開催、進路ガイダンス等に関する協議

第2回

日時 2023年7月4日（火）14:00-16:00
場所 出雲市民会館（オンライン併用）（出雲市）
内容 情報共有、学習支援教室の実施状況の報告、夏休み以降の学習支援教室開催方法・子どもサポーター研修の開催・進路ガイダンス等に関する協議

第3回

日時 2023年11月28日（火）14:00-16:00
場所 出雲市民会館（オンライン併用）（出雲市）
内容 情報共有、学習支援教室の実施状況の報告、外国にルーツをもつ子どもの交流会（進路ガイダンス）の実施報告、子どもサポーター研修の実施報告、12-2月学習支援教室開催方法等に関する協議

第4回

日時 2024年2月15日（木）14:00-16:00
場所 出雲市民会館（オンライン併用）（出雲市）
内容 情報共有、学習支援教室の実施状況の報告、子どもサポーター研修の実施報告、事業のまとめ、来年度事業に向けた意見交換

イ 学習支援教室

期間 2023年6月～2024年2月
場所 出雲市民会館・出雲市立ひかわ図書館（出雲市）
松江市総合福祉センター・松江市市民活動センター
（松江市）
内容 外国にルーツをもつ子どもの学習支援 50回
参加者 学習者：延べ199人（アメリカ、アフガニスタン、オーストラリア、中国、バングラデシュ、フィリピン、ブラジル）
ボランティア：延べ172人

ウ 外国にルーツをもつ子どもの交流会

日時 2023年7月29日（土）10:10-11:40
場所 出雲市立ひかわ図書館（出雲市）
内容 外国にルーツをもつ先輩の話を聞こう、話そう

講 師 張 暁新・星玖 藤原 愛紗（多文化ユースプロジェクト）、
井出 リエ（元JICA日系サポーター研修員）
参加者 外国にルーツをもつ子ども 4人

（４）コミュニティ通訳ボランティア派遣事業

外国人住民が、行政機関や学校・病院等の公共機関を利用する場合、日本語の能力の問題から意思疎通が十分できず、困難な状況が生じることがある。そのため、コミュニケーションが円滑に図られるよう、外国人住民・関係機関からの要請に基づきコミュニティ通訳ボランティアを派遣した。

派遣件数 73件（2022年度 85件）

言語内訳 英語 37 件 中国語 19 件 ポルトガル語 15 件 タガログ語 2 件
韓国語 0 件 スペイン語 0 件

派 遣 先 病院、学校、各種相談窓口等

コミュニティ通訳ボランティア登録者数 58 人（再掲）

（５）外国人住民防災・災害時支援事業【新規】

災害時外国人住民は、災害に関する情報が入手できない、災害に関する日本語が分からないこと等により、弱い立場に置かれることが多い。災害時でも外国人住民が安心できるよう、島根県災害多言語支援センターを設置・運営すること、多言語情報を発信すること等により外国人住民を支援するため、島根県災害多言語支援センター設置運営訓練を実施し、島根県総合防災訓練に参加した。

島根県総合防災訓練

日 時 2023年10月29日（日）10:00-12:30

場 所 中海ふれあい公園、安来第一中学校（安来市）

内 容 防災展示、避難所における多言語表示

（６）外国人留学生奨学金事業

留学生にとって日本の高い生活費は、勉学する上で大きな障壁となっており、経済的に厳しい状況にある。彼らの真摯な勉学への姿勢は多くの人の共感を得、彼らを支援しようと多くの寄附金が寄せられている。この寄附金に当財団の財源を加えて、奨学金を給付した。

ア しまね国際センター外国人留学生奨学金

対象者 県内の大学（大学院）、短大、高専4年次以上（専攻科含む）、
専修学校の専門課程等に在籍する私費留学生
（他の奨学金を受けていないこと）

奨学金 月額2万円（1年間交付）、年額24万円/人
給付者 11人（島根大学6人、坪内総合ビジネスカレッジ2人、
トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校2人、
リハビリテーションカレッジ島根1人※）
*10月以降は休学し帰国したため辞退

イ 寄附募集

時 期 通年（特に11月～2月）

内 容 奨学生の現況を添えて、県民一般に広く寄附を募った。
新たにクレジットカード決済を導入した。

寄附金総額 1,382,500円

個人：271件 698,500円

団体：15件 684,000円

4. 協働推進・助成顕彰事業 <協働・連携>

国際交流団体、市町村等と連携を図るとともに、民間団体が行う多文化共生の地域づくり、国際交流・協力活動を支援した。

(1) 協働推進事業

ア 海外ネットワーキング

(ア) 海外移住者支援

南米の移住者の文化活動、教育指導・援助活動等に、県人会を通じて必要な経費の一部を助成するとともに各種情報の提供を行った。

南米移住者県人会への助成額

ブラジル	50万円	(180世帯	460人)
ペルー	5万円	(6世帯	10人)

(イ) 島根県海外移住家族会支援

県と連携を図り、島根県海外移住家族会事業を支援した。

家族会 正会員 53人

特別会員 5市4町、8団体、5個人 (2024年3月末現在)

(ウ) サンパウロ州カサパーバ市における環境教育推進事業終了後調査団派遣 (JICA受託事業) 【新規】

カサパーバ市での7年間にわたる事業は、2021年6月に終了したが、2022年8月には、市の環境教育推進法が成立した。良好な展開が続いている状況を調査し、更なる推進に向けたフォローアップ活動を行った。

時 期 2023年9月9日 (土) ~9月22日 (金)

場 所 ブラジル・サンパウロ州カサパーバ市等

派遣者 3名 (プロジェクトマネージャー、プロジェクトマネージャー補佐、コーディネーター)

主な調査・活動

1. 学校教育における環境教育の実施状況
2. モソタ環境教育センターの整備状況
3. カサパーバ市関係機関への訪問
4. 自然アンビエンタルの活動状況
5. 環境教育セミナーの開催

イ 県内ネットワーキング

(ア) 国際交流団体・市町村等連携会議

国際化推進・多文化共生活動を行う団体等と市町村が一堂に会し、意見交換する場を設けた。(県との共催事業)

日 時 ①松江会場 2023年7月26日 (水) 13:30-15:50

②浜田会場 2023年8月2日 (水) 13:30-15:50

場 所 ①島根県庁本庁舎 (松江市)
②島根県浜田合同庁舎 (浜田市)
参加者 ①24人 ②13人

(イ) SICキャンパス【新規】

多文化共生や外国人支援、国際理解教育等に関心のある中高生や大学生に対して、フィールドワークの支援やインターンシップ受け入れなど、体験学習の機会を提供した。

実施件数 8件

(2) 助成顕彰事業

ア 助成金交付

地域が国際化するためには、民間団体や住民が積極的に国際交流や多文化共生に関与することが必要である。そのため、住民主体の国際交流・協力や日本語教室など多文化共生に資する事業に対し、助成した。

助 成 額 1事業当たり上限20万円

補 助 率 2/3 (但し、日本語教育事業については3/4)

申請件数 12件 (2022年度 12件)

助成件数 9件 (2022年度 9件)

助 成 額 799千円 (2022年度 741千円)

イ 功労者顕彰

島根県の国際化に尽力し、また当センター事業に多大な貢献をするなど、その功績が特に顕著な個人・団体を顕彰した。表彰式は、市町村・国際交流団体等連携会議(松江会場)で行った。

表彰状(敬称略) 1団体・1個人

- ・日本語指導ボランティアグループ かけはし(松江市)
- ・小山 繁樹(雲南市)

5. 広報・啓発事業 <多文化共生の意識醸成>

外国人住民に対して地域で円滑に生活していくための様々な情報を提供した。また、日本人住民に対しては、外国人住民に対する理解と国籍や民族の違いを超えて外国人住民と共生する地域づくりの意義や大切さについて機関誌やイベントを通じて広報・啓発した。

(1) 広報事業

外国人住民及び日本人住民に対してホームページ、SNSにより、生活情報やイベント情報等を多言語で提供するとともに、機関紙等により、多文化共生に関する情報や当センターの事業について周知した。

ア ホームページ

対応言語 日本語（ふりがな機能付き）、英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、ベトナム語

イ SNS

対応言語 日本語、英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、ベトナム語

方 法 Facebook、Instagram、YouTube

ウ 機関誌「まいるすとんず」（2,000部）年1回 2024年3月発行 国際理解や多文化共生の意義や大切さについて広報した。

配布先 市町村、県内公共施設、大学、賛助会員、ボランティア登録者、県内国際交流団体、県外地域国際化協会等

エ 「SIC応援団ニュース」（250部）隔月

センターの取り組みや事業の成果を報告した。

配布先 賛助会員、県、市町村等

(2) 啓発事業

講師派遣やイベント出展等を通じて、多文化共生の意義や必要性について県民の理解を促した。

ア 講師派遣

多文化共生の意義や実践方法等について、各種団体の要請を受けて講師を派遣した。

派遣件数 12件（2022年度 23件）

派遣先 自治体、行政機関、大学、外国人材受入団体等

内容 「やさしい日本語」について、外国人の人権、外国人対応について等

イ イベント出展

(ア) IZUMO多文化めしフェスタ

日 時 2023年8月26日（日）15:30-20:30
場 所 出雲市役所出雲だんだん広場（出雲市）
内 容 多文化共生に関する展示

(イ) 海遊祭

日 時 2023年10月8日～9日
場 所 島根県立大学浜田キャンパス（浜田市）
内 容 多文化共生に関する展示、ワークショップ

(ウ) しまね人権フェスティバル

日 時 2023年12月10日（日）10:30-15:30
場 所 島根県芸術文化センターグラントワ（益田市）
内 容 多文化共生に関する展示、缶バッジ作り

ウ 多文化リソースの提供

(ア) 図書の貸出

(イ) 国旗・卓上旗等の貸出

外国国旗等の保有状況（国連旗等含む）（2024年3月末現在）

国 旗 94か国 233枚
卓 上 旗 88か国 196枚

貸出実績

図書	国旗	卓上旗
39	8	5

○法人会計

1. 会議の開催

(1) 理事会・評議員会

場 所 島根県民会館（松江市）

ア 理事会

第1回 2023年5月17日（水）決議の省略

第2回 2023年6月2日（金）14:00-15:20（通常理事会）

第3回 2023年11月17日（金）決議の省略

第4回 2024年3月15日（金）14:00-15:10（通常理事会）

イ 評議員会

第1回 2023年5月24日（水）決議の省略

第2回 2023年6月22日（木）10:00-11:40（定時評議員会）

第3回 2023年12月1日（金）決議の省略

2. 会議、研修会への参加

(1) 地域国際化協会連絡協議会総会

日 時 2023年5月22日（月）13:00-14:20

場 所 ホテルルポール麹町（東京都千代田区）

※COVID-19の5類移行後間もない時期で集合形式のみのため欠席

(2) 中国・四国地域国際化協会連絡会議

日 時 2023年11月30日（木）13:30-16:40

場 所 広島国際会議場（広島市）

出席者 常務理事 安部山亨、事業推進課主任 古曳町子

内 容 各協会の概況報告、提出議題の協議、研修会

研修会

テーマ 「災害時外国系の人を支援する連携の役割」

講 師 （特非）安芸高田市国際交流協会 代表理事 明木一悦

(3) 災害時に外国人支援に従事する関係者向けの研修・訓練事業

日 時 2023年12月1日（金）9:30-16:00

場 所 広島国際会議場（広島市）

出席者 事業推進課主任 横田 敦

内 容 講義及び災害多言語支援センター設置・運営訓練

3. 組織体制等の検討

多文化共生業務の増加に伴い、財団体制の充実について、体制の在り方について検討を継続。次年度以降の職員の定年退職予定を見据え、後継者育成の観点から、前倒しで正規職員1名を採用した。

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2024年6月

公益財団法人 しまね国際センター